

霧島市長 中重 真一 殿

霧島市監査委員 東 邦雄  
同 岸本 博人  
同 池田 守

平成29年度霧島市工業用水道事業会計決算の一部修正に伴う関係部分の審査意見について

標記の件について、平成30年11月22日付平成29年度霧島市工業用水道事業会計決算の一部修正の報告があったことに伴い、関係部分の審査意見を次のとおり提出いたします。

#### 第1 審査の対象

平成29年度霧島市工業用水道事業会計決算（決算附属書類）の関係部分

#### 第2 審査の期間

平成30年11月22日～平成30年11月26日

#### 第3 審査の方法

修正報告のあった部分について、関係職員の説明を聴取し、追加審査を実施した。

#### 第4 審査の結果

平成29年度霧島市工業用水道事業会計決算附属書類の一部が修正されたことにより当該部分の審査を実施した結果、同決算附属書類の関係部分は、地方公営企業法等関係法令に準拠して修正されており、概ね適正であると認められた。

#### 第5 審査の概要

決算附属書類の訂正に伴い、関係部分を別添のとおり修正する。

#### 第6 審査の意見

今回の事案は、決算書及び決算附属書類の調製時における数値の検算不足が主な原因であると考えられる。一部修正に伴い、財務諸表等により示された決算額に変動はないものの、公営企業会計に係る決算書類については事業年度の業務実績、経営成績及び財政状態について正確な情報を提供することが求められること

から、今後においては、決算書及び決算附属書類の調製段階において、数値の正確性を十分に精査するとともに、確認体制をはじめとする内部統制の確立についても検討されたい。

修正報告のあった平成29年度霧島市工業用水道事業会計決算の関係部分を審査した結果、平成30年8月22日提出の「平成29年度霧島市公営企業会計決算審査意見書」中、霧島市工業用水道事業会計の一部を決算書（決算附属書類）の修正に連動し、次のとおり修正願います。

### 修正箇所

霧島市工業用水道事業会計	19 ページ
1 事業の概況	
(1) 業務実績	
表1 給配水実績表	

#### 【修正前】

表1 給配水実績

区 分	単位	平成29年度 (A)	平成28年度 (B)	前年度比較	
				増 減 (A)-(B)	増減率 (%)
年度末給水ヶ所数	ヶ所	21	21	0	—
年間配水量	m <sup>3</sup>	58,527	59,172	△ 645	△ 1.1
年間有収水量	m <sup>3</sup>	55,310	55,132	178	0.3
期間有収水量（料金算定分）	m <sup>3</sup>	<u>115,362</u>	113,676	<u>1,686</u>	<u>1.5</u>
一ヶ月平均配水量	m <sup>3</sup>	4,877	4,931	△ 54	△ 1.1
一ヶ月平均有収水量	m <sup>3</sup>	4,609	4,594	15	0.3
有 収 率	%	94.5	93.2	1.3	—

※有収率 = (年間有収水量 ÷ 年間配水量) × 100

#### 【修正後】

表1 給配水実績

区 分	単位	平成29年度 (A)	平成28年度 (B)	前年度比較	
				増 減 (A)-(B)	増減率 (%)
年度末給水ヶ所数	ヶ所	21	21	0	—
年間配水量	m <sup>3</sup>	58,527	59,172	△ 645	△ 1.1
年間有収水量	m <sup>3</sup>	55,310	55,132	178	0.3
期間有収水量（料金算定分）	m <sup>3</sup>	<u>116,117</u>	113,676	<u>2,441</u>	<u>2.1</u>
一ヶ月平均配水量	m <sup>3</sup>	4,877	4,931	△ 54	△ 1.1
一ヶ月平均有収水量	m <sup>3</sup>	4,609	4,594	15	0.3
有 収 率	%	94.5	93.2	1.3	—

※有収率 = (年間有収水量 ÷ 年間配水量) × 100

## 修正箇所

霧島市工業用水道事業会計 22・23 ページ

### 3 経営成績

#### (3) 供給単価及び給水原価

#### 【修正前】

##### (3) 供給単価及び給水原価

有収水量 1 m<sup>3</sup>当たりの供給単価は 50 円 23 銭、給水原価は 81 円 65 銭 で供給単価が給水原価を 31 円 42 銭 下回っている。前年度に比較して、供給単価は 80 銭 (1.6%)、給水原価は 18 円 1 銭 (28.3%) それぞれ増加している。

なお、給水原価が増加した要因としては、主に営業費用の減価償却費が増加したことによるものである。

表 8 供給単価及び給水原価の状況

区 分	平成 29 年度 (A)	平成 28 年度 (B)	前年度比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (%)
供給単価 (a)	<u>50 円 23 銭</u>	49 円 43 銭	<u>80 銭</u>	<u>1.6</u>
給水原価 (b)	81 円 <u>65 銭</u>	63 円 64 銭	<u>18 円 1 銭</u>	<u>28.3</u>
差額 (a)-(b)	△ 31 円 <u>42 銭</u>	△ 14 円 21 銭	△ 17 円 <u>21 銭</u>	—

#### 【修正後】

##### (3) 供給単価及び給水原価

有収水量 1 m<sup>3</sup>当たりの供給単価は 49 円 90 銭、給水原価は 81 円 12 銭 で供給単価が給水原価を 31 円 22 銭 下回っている。前年度に比較して、供給単価は 47 銭 (1.0%)、給水原価は 17 円 48 銭 (27.5%) それぞれ増加している。

なお、給水原価が増加した要因としては、主に営業費用の減価償却費が増加したことによるものである。

表 8 供給単価及び給水原価の状況

区 分	平成 29 年度 (A)	平成 28 年度 (B)	前年度比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (%)
供給単価 (a)	<u>49 円 90 銭</u>	49 円 43 銭	<u>47 銭</u>	<u>1.0</u>
給水原価 (b)	81 円 <u>12 銭</u>	63 円 64 銭	<u>17 円 48 銭</u>	<u>27.5</u>
差額 (a)-(b)	△ 31 円 <u>22 銭</u>	△ 14 円 21 銭	△ 17 円 <u>1 銭</u>	—

## 修正箇所

霧島市工業用水道事業会計 27 ページ

5 むすび

中段

### 【修正前】

経営成績をみると、総収益は2,740万7,661円、総費用は2,501万4,580円で、純利益は239万3,081円となっており、前年度に比較して127万4,106円(113.9%)増加している。また、水1 m<sup>3</sup>当たりの供給単価(50円23銭)と給水原価(81円65銭)の比較では31円42銭の差損となり、前年度に比較して赤字幅が17円21銭増大している。

### 【修正後】

経営成績をみると、総収益は2,740万7,661円、総費用は2,501万4,580円で、純利益は239万3,081円となっており、前年度に比較して127万4,106円(113.9%)増加している。また、水1 m<sup>3</sup>当たりの供給単価(49円90銭)と給水原価(81円12銭)の比較では31円22銭の差損となり、前年度に比較して赤字幅が17円1銭増大している。